

磯部舞子 violin
小山豊 津軽三味線
栗林すみれ piano

2025年11月23日(日)
開場 14:30
開演 15:00
(2ステージ入替無) (1drink=600)
MC=3700+2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



栗林すみれ

生田流箏奏者である父の箏を聞いて育つ。2014年行方均氏のプロデュースでサムシンクールレーベルからデビュー。1stアルバムがディスクニュースグランプリ受賞。2018年総勢11名参加のアンサンブル作品をリリース。ジャズライフ誌で表紙を飾る。金澤英明とのユニット『二重奏』を三作リリースし、国内で高い評価を得る。海外での活動もめざましく、ロンドンのボクストンホールでのリーダー公演、南イタリアでのソロコンサート、ドイツではウォルター・ラング、福盛進也とともに老舗クラウンタファルトのマンスリーピックアップアーティストとして出演、ジュゼッペ・バッシ・グルーピでのイタリアでの録音、ツアーや台湾ツアーにも参加。オーストラリアのワンガラッタジャズフェスティバルにニラン・ダシカとのユニットと、自己のセクステットで出演。1番印象だったパフォーマンス(australianbookreview)、フェスティバルのハイライト(サイバーハライド・ジャズ)、2020年ジュゼッペ・バッシとのリモート録音作品がイタリアのベストジャズアルバム100に選ばれる。イタリアのジャズマガジンジャズコンベンションに選ばれ、「日本のジャズシーンの若い世代に属している栗林は、彼女の注目に値する創造的資質と、彼女の質感を交差させる驚くべきストーリーテリングの両方で、ここ数年で最も高く評価されているピアニストの一人です。ヨーロッパのインプロコミュニティCIPROJECTに参加。溝口肇のジャズアルバムへの参加や、NHKBSプレミアム『美の壺』でオリジナル曲使用されるなど作曲やアレンジ面の才能も発揮し先人へのよくあると堅い音楽性の融合から紛ぎだされるオリジナル曲とインプロヴィゼーションは新たな世界を切り開きながらも心地良く、多くの聴衆の心を掴む。

磯部舞子

5歳の時、みたこともきいたこともない「ぱいよりん」という語感に惹かれてバイオリンを習うことになると決意する。ここには書けぬほど我の強い生徒で、いつもバイオリンの先生を呆れさせていた…と思う…そのバイオリンの先生のことが今でも大好き。「日本一デキるOL(お茶汲みとコピーに自信あり)」に憧れるも、うっかり就活を忘れ、志半ばにして挫折。暗中模索の日々を過ごす。2010年から2011年にかけて近所の喫茶店で、素敵なミュージシャン達に次々と出会う。素晴らしさに大興奮しているうちに、いつの間にか現在に至る。これまで一緒にしてきたミュージシャンは伊藤多喜雄(民謡)、早川義夫、中川五郎、小山卓治、石川浩司、林正樹、大柴拓、一曽幸弘(能楽)、ハシケン、伊藤ヨタロウ(メトロフィアルス)、チャラン・ポ・ランタン、松尾スズキ(劇団大人計画)、根本宗子(演劇)などなど(本当に順不同)イソベの「べ」をとって「ベチコ」の愛称でも呼ばれている。辻楽師のように、通りすがりの人にも素晴らしいと思わせられないと明日のご飯がない気概で音楽をやりたい。

赤紫と野菜と生き物が、むちゃくちや好き。

小山豊

幼少より津軽三味線小山流宗家(祖父)小山貢翁に師事。日本最大流派の1つである小山流の三代目として、国内・海外で演奏活動を行っている。2001、2002年(財)日本民謡協会津軽三味線コンクールで優秀賞を連続受賞。2011年には自身が結成した津軽三味線ユニット、OYAMA x NITTAで、ニューヨーク・カーネギーホール主催コンサートを成功させ、NY TIMESから称賛を受ける。2013年にはラテンアメリカ最大規模の音楽祭であるセルバンティーノ国際芸術祭(メキシコ)に招聘され、自身のユニットを結成し参加、大きな成功を収めた。古典以外でも、嵐やももいろクローバーZといった人気グループとの共演、【ARASHI LIVE TOUR 2015 Japonism】【ARASHI Japonism Show in ARENA 2016】では和樂器隊リーダーとして数十名の奏者を率いて参加。【Sky magic】では25台のドローンとコラボレーション、狂言師野村萬斎氏構成演出の【マクベス】への参加、【LA FOLLE JOURNÉE】【Fuji Rock Festival 2017】にも参加するなどコラボレーションは多岐にわたる。最近では松山千春氏の41年ぶりとなる全国弾き語りツアー【松山千春コンサートツアーブー2018弾き語り】に唯一のゲストとして参加。【桑田佳祐Act Against AIDS 2018 平成三十年度! 第三回ひとり紅白歌合戦】にも出演。その他、ゲーム、CM等レコーディングやテレビ出演、サウンドプロデュース、指導など、その活動の幅は広く多方面のジャンルにおいて活躍中である。津軽三味線や民謡の魅力を伝えるため、伝統の継承とともに、枠にとらわれない柔軟な新たな解釈で既存には無いサウンドを生み出し続けている。